

県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領 申請書記載例

○建設リサイクル資材認定申請（新規）に係る関係書類	P4-22
○再生加熱アスファルト混合物	P4-23
○再生コンクリート二次製品	P4-28
○再生舗装用ブロック（平板、インターロッキングブロック）	P4-34
○再生木質ボード	P4-39
○排水・通気用再生硬質塩化ビニル管	P4-44
○再生セラミックタイル	P4-49
○再生ビニル系床材	P4-54
○再生人造鉱物繊維断熱材（グラスウール断熱材・ロックウール断熱材）	P4-59
○再生骨材コンクリート	P4-64
○再生改良土	P4-69
○再生バーク堆肥	P4-73
○再生集成材・合板	P4-78
○再生モルタル	P4-83
○再生流動性埋戻材	P4-88
○再生生コンクリート	P4-93

建設リサイクル資材認定申請（新規）に係る関係書類

	新規 申請
* 必須書類 1 建設リサイクル資材認定（新規）申請書 2 建設リサイクル資材の供給区域の申告書 （第1号様式別紙3） 3 法人の登記事項証明書の写し （申請日前3箇月以内のもの。） 4 その他添付書類等（会社案内 申請資材に係る広報資料等） 5 公的試験機関が行う環境に対する安全性に係る試験結果 （申請日前3箇月以内に行ったもの。） 6 再生資源の含有率の根拠となる計算式等の資料 7 再生資源利用状況報告書 （第1号様式別紙1） 8 公的試験機関が行う品質・性能に係る試験結果（申請日前3箇月以内に行 ったもの。）又は適合する規格に係る認定書の写し 9 製造工場の全体配置図及び写真、再生資源及び申請資材の保管場所、申請 資材の製造工程の概要等の資料 10 品質管理体制に係る資料 * 以下については該当する場合提出が必要です。 11 申請者以外が製造した再生資源を用いた資材は、再生資源納入証明書 （第1号様式別紙2） 12 JIS マーク製品においては、その製造工場が記載された日本産業規格適合 性認証書の写し 13 ISO9001 認証取得工場においては、認証の写し及び認証の範囲を示す書 類の写し 14 その他公的団体の認証評定取得工場においては、証明書類の写し 15 資材を生産・販売するにあたって法令に関する証明が必要な場合は、その 証明書の写し 16 グリーン調達基準の別表第8に定める再生木質ボードの評価基準に掲げる 再生資源以外の木質材料を用いた再生木質ボードの資材は、その合法性及び 持続可能性を証明する資料	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所

電話番号

氏名

神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
(〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
(〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第5条第1項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名		再生加熱アスファルト混合物				
	申請資材名		アスファルト 合材	アスファルト 合材	アスファルト 合材	アスファルト 合材	
	寸法・規格等		再生密粒度ア スコン(13) 道路用溶融ス ラグ入り	再生粗粒度ア スコン(20)	再生 AS 安定 処理(30)	再生細粒度ア スコン(13)	
評価基準の適合状況	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない ☐ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等 （ ） ☒ c 石綿を原料としていない。 ☐ d 建物の内装材にあつては、建築基準法施行令第20条の7の技術基準で使用制限を受けない材料である。				
	再生資源	再生資源の内容	アスファルト・コンクリート再生骨材、道路用溶融スラグ				
		再生資源の含有率	45%（別紙のとおり）				
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （「マーシャル安定度試験基準値」、「粒度範囲とアスファルト量」及び「舗装用石油アスファルトの規格」） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （「旧アスファルト含有量」、「旧アスファルトの針入度」及び「骨材の微粒分量」 「JIS A 5032 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化した道路用溶融スラグ」）				
	品質管理	製造工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇			
			公的規格等の取得状況	☐ JISの認証を取得している。 （ ） ☐ ISO9001の認証を取得している。 （ ） ☒ その他 （アスファルト混合物事前審査制度認定書）			
品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇					
その他			再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無				

対象外

環境負荷	☒ 再生資源を含有しない資材比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排出等環境負荷が著しく増大しない。
申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇課〇〇〇係
	電話番号	000-000-0000
	FAX番号	000-000-0000

- 備考
- 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☒ 申請者	☒ その他
再生資源の原料	アスファルト・コンクリート再生骨材	第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所	主に神奈川県内の公共工事から発生	
再生資源の原料 の処理方法	破碎し寸法・規格別に分級	
申請資材での年 間の再生資源の 使用量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）

備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。

2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	一般廃棄物
再生資源の原料の発生場所	各自治体の清掃工場
再生資源の原料の処理方法	一般廃棄物焼却灰を溶融
再生資源の内容	JIS A 5032 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融 固化した道路用溶融スラグ
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
アスファルト合材	再生密粒度アスコン(13) 道路用溶融スラグ入り	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
アスファルト合材	再生粗粒度アスコン(20)	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
アスファルト合材	再生AS安定処理(30)	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
アスファルト合材	再生細粒度アスコン(13)	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第 5 条第 1 項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請 資材 の 概 要	認定対象品目名	再生コンクリート二次製品			
	申請資材名	〇〇リサイクル両面歩車道境界ブロック A・B・C			
評価 基準 の 適 合 状 況	寸法・規格等	(A) 150/190×200×600 (B) 180/230×250×600 (C) 180/240×300×600 JIS A 5371			
		環境に対する安全性			
	再生 資源	再生資源の内容	☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☐ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等 () ☒ c 石綿を原料としていない。 ☐ d 建物の内装材にあつては、建築基準法施行令第 20 条の 7 の技術基準で使用制限を受けない材料である。		
		再生資源の含有率	JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材 15%（別紙のとおり）		
	品質・性能	☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 (神奈川県土木工事共通仕様書 第 2 編 第 2 章 第 7 節「2-2-7-1 一般事項」及び「JIS A 5371 プレキャスト無筋コンクリート製品」) ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 (「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」)			
		品質 管理	製造 工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
	公的規格等の取得状況			☒ JIS の認証を取得している。 (「JIS A 5371 プレキャスト無筋コンクリート製品」) ☐ ISO 9001 の認証を取得している。 () ☐ その他 ()	
品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇			
その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無			

対象外

環境負荷	☒ 再生資源を含有しない資材比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排出等環境負荷が著しく増大しない。
申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇〇課〇〇〇係
	電話番号	000-000-0000
	FAX番号	000-000-0000

- 備考
- 1 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 2 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 3 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 4 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 5 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 6 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 7 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 8 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 9 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 10 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☐ 申請者	☒ その他
再生資源の原料		第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり ^(注) (注)エコセメントや高炉セメント、フライアッシュセメントを使用する場合は、それぞれ「JIS R 5214 エコセメント」「JIS R 5211 高炉セメント」「JIS R 5213 フライアッシュセメント」と記入してください。
再生資源の原料 の発生場所		
再生資源の原料 の処理方法		
申請資材での年 間の再生資源の 使用量		〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量		〇〇 t（〇年度）

備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。

2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

エコセメントや高炉セメント、フライアッシュセメントを使用する場合は不要です

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	一般廃棄物
再生資源の原料の発生場所	各自治体の清掃工場
再生資源の原料の処理方法	一般廃棄物焼却灰を溶融
再生資源の内容	JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
〇〇リサイクル 両面歩車道境界 ブロック	(A) 150/190×200 ×600mm JIS A 5371	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〃	(B) 180/230×250 ×600mm JIS A 5371	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〃	(C) 180/240×300 ×600mm JIS A 5371	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

再生資源の含有率

配合表

水セメント比 (%)	細骨材率 (%)	水 (kg/m ³)	結合材		細骨材 (kg/m ³)	粗骨材 (kg/m ³)	混和剤 (kg/m ³)
			セメント (kg/m ³)	混和材 (kg/m ³)			
			A	B			

エコセメントを用いているため、全質量を含有率の算定に含める。※

$$\begin{aligned}\text{再生資源の含有率} &= A \div (A+B) \\ &= \text{〇〇}\%\end{aligned}$$

※使用している再生資源に応じて、記入内容を適宜変更してください。

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第5条第1項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請 資材 の 概 要	認定対象品目名	再生舗装用ブロック（平板、インターロッキングブロック）		
	申請資材名	インターロッキングブロック「〇〇」		
	寸法・規格等	120×240×T60mm 120×240×T80mm 150×150×T60mm 150×150×T80mm JIS A 5371		
評価 基準 の 適 合 状 況	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない ☐ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等 （ ☒ c 石綿を原料としていない。 ☐ d 建物の内装材にあつては、建築基準法施行令第20条の7の技術基準で使用制限を受けない材料である。	
	再生 資源	再生資源の内容	JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材	
		再生資源の含有率	50%（別紙のとおり）	
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （神奈川県土木工事共通仕様書 第2編 第2章 第7節「2-2-7-1一般事項」及び「JIS A 5371 プレキャスト無筋コンクリート製品」） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」）	
	品質 管理	製造 工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
			公的規格等の取得状況	☒ JISの認証を取得している。 （「JIS A 5371 プレキャスト無筋コンクリート製品」） ☐ ISO9001の認証を取得している。 （ ☐ その他 （
品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇		
その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無		

対象外

環境負荷	☒ 再生資源を含有しない資材比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排出等環境負荷が著しく増大しない。
申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇課〇〇係
	電話番号	000-000-0000
	FAX番号	000-000-0000

- 備考 1 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
- 2 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
- 3 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
- 4 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードに該当する場合には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 5 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 6 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 7 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
- 8 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
- 9 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
- 10 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☐ 申請者	☒ その他
再生資源の原料		第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり ^(注) (注)エコセメントや高炉セメント、フライアッシュセメントを使用する場合は、それぞれ「JIS R 5214 エコセメント」「JIS R 5211 高炉セメント」「JIS R 5213 フライアッシュセメント」と記入してください。
再生資源の原料 の発生場所		
再生資源の原料 の処理方法		
申請資材での年 間の再生資源の 使用量		〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量		〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

エコセメントや高炉セメント、フライアッシュセメントを使用する場合は不要です

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	一般廃棄物
再生資源の原料の発生場所	各自治体の清掃工場
再生資源の原料の処理方法	一般廃棄物焼却灰を溶融
再生資源の内容	JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
インターロッキング グブロック「〇〇」	J I S A 5 3 7 1 1 2 0 × 2 4 0 × T 6 0 mm	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〃	J I S A 5 3 7 1 1 2 0 × 2 4 0 × T 8 0 mm	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〃	J I S A 5 3 7 1 1 5 0 × 1 5 0 × T 6 0 mm	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〃	J I S A 5 3 7 1 1 5 0 × 1 5 0 × T 8 0 mm	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第5条第1項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名		再生木質ボード	
	申請資材名		〇〇パーティクルボード 無研磨板	
評価基準の適合状況	寸法・規格等		JIS A 5908 (F☆☆☆☆) RN-12-M18 RN-12-P18 RN-15-M18 RN-15-P18	
	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☒ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等 (〇〇〇〇試験) ☒ c 石綿を原料としていない。 ☒ d 建物の内装材にあっては、建築基準法施行令第20条の7の技術基準で使用制限を受けない材料である。	
	再生資源	再生資源の内容	木材チップ	
		再生資源の含有率	100%（別紙のとおり）	
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 (「JIS A 5908 パーティクルボード」) ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 (「製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材、使用済梱包材」)	
	品質管理	製造工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
			公的規格等の取得状況	☒ JISの認証を取得している。 (「JIS A 5908 パーティクルボード」) ☐ ISO9001の認証を取得している。 () ☐ その他 ()
		品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇
	その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☒ 無	
	環境負荷			☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排出等環境負荷が著しく増大しない。

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇課〇〇係
	電話番号	000-000-0000
	FAX番号	000-000-0000

- 備考
- 1 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 2 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 3 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 4 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 5 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 6 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 7 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 8 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 9 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 10 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☐ 申請者	☒ その他
再生資源の原料		第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所		
再生資源の原料 の処理方法		
申請資材での年 間の再生資源の 使用量		〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量		〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材 使用済梱包材
再生資源の原料の発生場所	〇〇工場の残材 主に〇〇県内各工事現場から出た建築解体木材、使用済梱包材 （神奈川県内の発生場所が特定できる場合は優先して記載してください）
再生資源の原料の処理方法	破砕機によりチップ化する。
再生資源の内容	木材チップ
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
〇〇パーティクル ボード	JIS A 5908 (F☆☆☆☆) RN-12-M18	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〇〇パーティクル ボード	JIS A 5908 (F☆☆☆☆) RN-12-P18	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〇〇パーティクル ボード	JIS A 5908 (F☆☆☆☆) RN-15-M18	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〇〇パーティクル ボード	JIS A 5908 (F☆☆☆☆) RN-15-P18	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第 5 条第 1 項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名	排水・通気用再生硬質塩化ビニル管		
	申請資材名	〇〇リサイクル三層管		
評価基準の適合状況	寸法・規格等	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797 RS-VU (塩化ビニル管継手協会 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 AS62) 呼び径：100, 150, 200, 300		
	環境に対する安全性	☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☐ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等（ ☒ c 石綿を原料としていない。 ☐ d 建物の内装材にあっては、建築基準法施行令第 20 条の 7 の技術基準で使用制限を受けない材料である。		
		再生資源	再生資源の内容	再生硬質塩化ビニル
		再生資源の含有率	30～50%（別紙のとおり）	
	品質・性能	☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （「JIS K 9797 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管」） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （「廃棄された硬質塩化ビニル管・継手」）		
	品質管理	製造工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
			公的規格等の取得状況	☒ JIS の認証を取得している。 （「JIS K 9797 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管」） ☐ ISO 9001 の認証を取得している。 （ ☐ その他 （
		品質管理責任者	工場長 〇〇 〇〇	
	その他	再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無		
環境負荷	☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排だ等環境負荷が著しく増大しない。			

対象外

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇課〇〇係
	電話番号	000-000-0000
	FAX番号	000-000-0000

- 備考
- 1 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 2 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 3 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 4 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 5 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 6 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 7 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 8 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 9 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 10 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☐ 申請者	☒ その他
再生資源の原料		第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所		
再生資源の原料 の処理方法		
申請資材での年 間の再生資源の 使用量		〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量		〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
 氏名 〇〇株式会社
 代表取締役 〇〇 〇〇
 電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	廃棄された硬質塩化ビニル管・継手
再生資源の原料の発生場所	管工事現場の残材・端材・撤去材 建設解体現場の解体配管など （神奈川県内の発生場所が特定できる場合は優先して記載してください）
再生資源の原料の処理方法	使用済み硬質塩化ビニル管・継手を受け入れて破砕機により粉砕品を製造している。
再生資源の内容	再生硬質塩化ビニル
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
〇〇リサイクル三層管	J I S K 9 7 9 7 R S - V U 呼び径：1 0 0	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〇〇リサイクル三層管	J I S K 9 7 9 7 R S - V U 呼び径：1 5 0	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〇〇リサイクル三層管	J I S K 9 7 9 7 R S - V U 呼び径：2 0 0	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〇〇リサイクル三層管	J I S K 9 7 9 7 R S - V U 呼び径：3 0 0	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第5条第1項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請 資材 の 概要	認定対象品目名		再生セラミックタイル	
	申請資材名		〇〇タイル	
評価基準 の 適合 状況	寸法・規格等		外装壁タイル(磁器質) JIS A 5209 227mm×60mm 平物 施ゆう (168mm+50mm)×60mm 役物 施ゆう (60mm+50mm)×227mm 役物 施ゆう 〔色 〇〇、〇〇、・・・〕(別添のカタログ参照)	
	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☒ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等 (〇〇〇〇試験) ☒ c 石綿を原料としていない。 ☐ d 建物の内装材にあつては、建築基準法施行令第20条の7の技術基準で使用制限を受けない材料である。	
	再生 資源	再生資源の内容	下水道汚泥焼却廃溶融スラグ、窯業廃土、キラ	
		再生資源の含有率	25%（別紙のとおり）	
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 (「JIS A 5209 セラミックタイル」) ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 (下水道汚泥焼却灰溶融スラグ、窯業廃土、キラ)	
	品質 管理	製造 工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
			公的規格等の取得状況	☒ JISの認証を取得している。 (「JIS A 5209 セラミックタイル」) ☐ ISO9001の認証を取得している。 () ☐ その他 ()
		品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇
その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無		
環境負荷			☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排出等環境負荷が著しく増大しない。	

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパンフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇課〇〇係
	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	FAX番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

- 備考 1 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
- 2 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
- 3 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
- 4 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
- 5 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 6 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 7 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
- 8 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
- 9 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
- 10 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☐ 申請者	☒ その他
再生資源の原料		第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所		
再生資源の原料 の処理方法		
申請資材での年 間の再生資源の 使用量		〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量		〇〇 t（〇年度）

備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。

2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	①下水道汚泥 ②陶磁器製作時の失敗品 ③低品位の珪砂
再生資源の原料の発生場所	①〇〇下水処理場 ②〇〇工場 ③〇〇採石場
再生資源の原料の処理方法	①下水道汚泥の焼却灰を熔融スラグ化 ②陶磁器製作時の失敗品を破碎 ③低品位の珪砂を破碎
再生資源の内容	①下水道汚泥焼却灰熔融スラグ ②窯業廃土 ③キラ
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

※ ①②③は記載の例として、3種の再生資源について記しています。申請する資材に複数の再生資源を用いている場合は、再生資源ごとに再生資源納入証明書を提出してください。

建設リサイクル資材の供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
〇〇タイル	外装壁タイル(磁器質) J I S A 5 2 0 9 227mm×60mm 平物 施ゆう 〔色 〇〇、〇〇、・・・〕	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〇〇タイル	外装壁タイル(磁器質) J I S A 5 2 0 9 (168mm+50mm)× 60mm 役物 施ゆう 〔色 〇〇、〇〇、・・・〕	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〇〇タイル	外装壁タイル(磁器質) J I S A 5 2 0 9 (60mm+50mm)× 227mm 役物 施ゆう 〔色 〇〇、〇〇、・・・〕	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第 5 条第 1 項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	率先利用品目名		再生ビニル系床材		
	申請資材名		〇〇〇〇タイル		
評価基準の適合状況	寸法・規格等		コンポジションビニル床タイル J I S A 5 7 0 5 K T 2.0mm 300×300mm 〔色 黒、赤、黄、青、・・・・（別添のカタログ参照）〕		
	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☒ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等 （〇〇〇〇試験） ☒ c 石綿を原料としていない。 ☒ d 建物の内装材にあつては、建築基準法施行令第 20 条の 7 の技術基準で使用制限を受けない材料である。		
	再生資源	再生資源の内容	再生塩化ビニル樹脂		
		再生資源の含有率	22%（別紙のとおり）		
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める率先利用品目の評価基準に適合している。 （「J I S A 5 7 0 5 ビニル系床材」） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める率先利用品目の評価基準に適合している。 （「再生塩化ビニル樹脂」）		
	品質管理	製造工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇	
			公的規格等の取得状況	☒ J I S の認証を取得している。 （「J I S A 5 7 0 5 ビニル系床材」） ☐ I S O 9 0 0 1 の認証を取得している。 （ ） ☐ その他 （ ）	
		品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇	
その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無			
環境負荷			☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排吐等環境負荷が著しく増大しない。		

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇課〇〇係
	電話番号	000-000-0000
	FAX番号	000-000-0000

- 備考 1 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
- 2 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
- 3 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
- 4 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合□内にレ印を記入してください。
- 5 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 6 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 7 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
- 8 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
- 9 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
- 10 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☒ 申請者	☒ その他
再生資源の原料	自社工場内で発生する端材、余材及び不良品	第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所	自社工場内	
再生資源の原料 の処理方法	細かく裁断したものを溶融	
申請資材での年 間の再生資源の 使用量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める率先利用品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	農業用ビニルフィルム
再生資源の原料の発生場所	全国の農家
再生資源の原料の処理方法	表面の汚れや付着物を除去後、細かく裁断したものを溶融
再生資源の内容	再生塩化ビニル樹脂
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める率先利用品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。

2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の価格等の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
〇〇〇〇タイル	コンポジションビニル床タイル J I S A 5 7 0 5 K T 2.0mm 300×300mm 軟質 〔色 黒、赤、黄、青、・・・・〕	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

第1号様式（第5条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第5条第1項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請 資材 の 概 要	認定対象品目名		再生人造鉱物繊維断熱材（グラスウール断熱材・ロックウール断熱材）	
	申請資材名		〇〇〇〇グラスウール	
	寸法・規格等		グラスウール保温帯 JIS A 9504 ① 厚さ 25mm 表面仕上げ アルミガラスクロス ② 厚さ 50mm 表面仕上げ アルミガラスクロス ③ 厚さ 25mm 表面仕上げ 寒冷紗 ④ 厚さ 50mm 表面仕上げ 寒冷紗	
評価 基準 の 適 合 状 況	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☒ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等 （〇〇〇〇試験） ☒ c 石綿を原料としていない。 ☒ d 建物の内装材にあっては、建築基準法施行令第20条の7の技術基準で使用制限を受けない材料である。	
	再生 資源	再生資源の内容	ガラスカレット	
		再生資源の含有率	85%（別紙のとおり）	
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （「JIS A 9504 人造鉱物繊維保温材」） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （ガラスカレット）	
	品質 管理	製造 工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
			公的規格等の取得状況	☒ JISの認証を取得している。 （「JIS A 9504 人造鉱物繊維保温材」） ☐ ISO9001の認証を取得している。 （ ） ☐ その他 （ ）
品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇		
その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無		
環境負荷			☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排出等環境負荷が著しく増大しない。	

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和 45 年法律第 137 号) 第 7 条第 5 項第 4 号イからヌまで及び第 14 条第 5 項第 2 号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒〇〇〇-〇〇〇〇
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇課〇〇係
	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	FAX 番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

- 備考 1 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
- 2 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
- 3 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
- 4 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
- 5 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 6 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
- 7 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
- 8 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
- 9 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
- 10 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☒ 申請者	☒ その他
再生資源の原料	不良品として回収されたグラスウール製品	第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所	全国各地	
再生資源の原料 の処理方法	回収したグラスウール製品を、溶融する	
申請資材での年 間の再生資源の 使用量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	廃棄されたガラス瓶
再生資源の原料の発生場所	全国各地
再生資源の原料の処理方法	破碎処理等の後、一定の大きさに揃えている
再生資源の内容	ガラスカレット
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の価格等の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
〇〇〇〇グラスウール保温帯	グラスウール保温帯 厚さ 25mm 表面仕上げ アルミガラスクロス J I S A 9 5 0 4	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〇〇〇〇グラスウール保温帯	グラスウール保温帯 厚さ 50mm 表面仕上げ アルミガラスクロス J I S A 9 5 0 4	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〇〇〇〇グラスウール保温帯	グラスウール保温帯 厚さ 25mm 表面仕上げ 寒冷紗 J I S A 9 5 0 4	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〇〇〇〇グラスウール保温帯	グラスウール保温帯 厚さ 50mm 表面仕上げ 寒冷紗 J I S A 9 5 0 4	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第 5 条第 1 項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名		再生骨材コンクリートML	
	申請資材名		再生骨材コンクリートML「〇〇」	
	寸法・規格等		18-10-20 18-18-20 JIS A 5023	
評価基準の適合状況	環境に対する安全性	☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☐ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等（ ） ☒ c 石綿を原料としていない。 ☐ d 建物の内装材にあっては、建築基準法施行令第 20 条の 7 の技術基準で使用制限を受けない材料である。		
		再生資源	再生資源の内容	コンクリート用再生骨材L
		再生資源の含有率	30%（別紙のとおり）	
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （「JIS A 5023 再生骨材コンクリートL」） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （「コンクリート用再生骨材L」）	
	品質管理	製造工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
			公的規格等の取得状況	☒ JIS の認証を取得している。 （「JIS A 5023 再生骨材コンクリートL」） ☐ ISO 9001 の認証を取得している。 （ ） ☐ その他 （ ）
		品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇
その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無		
環境負荷			☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排吐等環境負荷が著しく増大しない。	

対象外

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇課〇〇係
	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	FAX番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

- 備考
- 1 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 2 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 3 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 4 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードに該当する場合には、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 5 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 6 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 7 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 8 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 9 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 10 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☐ 申請者	☒ その他
再生資源の原料		第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所		
再生資源の原料 の処理方法		
申請資材での年 間の再生資源の 使用量		〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量		〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	コンクリート塊
再生資源の原料の発生場所	主に〇〇県内各解体工事現場
再生資源の原料の処理方法	破碎し寸法、規格別に分級
再生資源の内容	コンクリート用再生骨材Ⅱ
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の価供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
再生骨材コンクリートML「〇〇」	JIS A 5023 18-10-20	☐ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 (津久井)
〃	JIS A 5023 18-18-20	☐ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 (津久井)
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第 5 条第 1 項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請 資材 の 概 要	認定対象品目名		再生改良土		
	申請資材名		再生改良土「〇〇」		
	寸法・規格等		第 1 種改良土 第 2 種改良土		
評価基準 の 適 合 状 況	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☒ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等 （土壌溶出量調査、土壌含有量調査） ☐ c 石綿を原料としていない。 ☐ d 建物の内装材にあっては、建築基準法施行令第 20 条の 7 の技術基準で使用制限を受けない材料である。		
	再生 資源	再生資源の内容	建設汚泥		
		再生資源の含有率	100%（別紙のとおり）		
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （第 1 種改良土、第 2 種改良土） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （建設汚泥）		
	品質 管 理	製造 工場	名称、所在地 及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	
			公的規格等の 取得状況	☐ J I S の認証を取得している。 （ ） ☐ I S O 9 0 0 1 の認証を取得している。 （ ） ☐ その他 （ ）	
		品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇	
その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無			
環境負荷			☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排だ等環境負荷が著しく増大しない。		

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇課〇〇係
	電話番号	000-000-0000
	FAX番号	000-000-0000

- 備考
- 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードに該当する場合には、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☒ 申請者	☐ その他
再生資源の原料	建設汚泥	第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所	県内の工事現場	
再生資源の原料 の処理方法	分離、脱水、プレス等	
申請資材での年 間の再生資源の 使用量	〇〇 t（〇年度）	
申請資材の年間 の生産量	〇〇 t（〇年度）	

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

建設リサイクル資材の価供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
再生改良土 「〇〇」	第1種改良土	☐ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 （津久井）
〃	第2種改良土	☐ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 （津久井）
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 （ ）
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 （ ）
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 （ ）

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第 5 条第 1 項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名		再生パーク堆肥		
	申請資材名		パーク堆肥「〇〇」		
	寸法・規格等		40L		
評価基準の適合状況	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☐ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等（ ☐ c 石綿を原料としていない。 ☐ d 建物の内装材にあっては、建築基準法施行令第 20 条 7 の技術基準で使用制限を受けない材料である。		
	再生資源	再生資源の内容	刈り草、剪定枝、未利用木材		
		再生資源の含有率	60%（別紙のとおり）		
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （再生パーク堆肥） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （刈り草、剪定枝、未利用木材）		
	品質管理	製造工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	
			公的規格等の取得状況	☐ J I S の認証を取得している。 （ ） ☒ I S O 9 0 0 1 の認証を取得している。 （ ） ☐ その他 （ ）	
		品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇	
その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☒ 有 ☐ 無			
環境負荷			☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排吐等環境負荷が著しく増大しない。		

刈り草、剪定枝、未利用木材以外を利用している場合は対象

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000	
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇	
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社	
	担当所属	名称	〇〇課〇〇係
		電話番号	000-000-0000
FAX番号		000-000-0000	

- 備考
- 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☒ 申請者	☒ その他
再生資源の原料	刈り草、剪定枝、伐木材、伐根材	第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所	神奈川県内の工事から発生	
再生資源の原料 の処理方法	破砕機により粉砕する	
申請資材での年 間の再生資源の 使用量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	刈り草、剪定枝、伐木材、伐根材
再生資源の原料の発生場所	主に〇〇県内各工事現場
再生資源の原料の処理方法	破砕機によりチップ化する
再生資源の内容	木質チップ
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の価供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
パーク堆肥 「〇〇」	40L	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〃	20L	☐ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 (津久井)
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第 5 条第 1 項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名		再生集成材・合板		
	申請資材名		再生集成材「〇〇ウッド」		
評価基準の適合状況	寸法・規格等		鴨居 2750×40×100 手摺材 4000×60×90 床板 12×105×4000		
	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☐ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等（ ☐ c 石綿を原料としていない。 ☒ d 建物の内装材にあつては、建築基準法施行令第 20 条の 7 の技術基準で使用制限を受けない材料である。		
	再生資源	再生資源の内容	間伐材		
		再生資源の含有率	100%		
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （再生集成材・合板） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （間伐材）		
	品質管理	製造工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	
			公的規格等の取得状況	☐ J I S の認証を取得している。 （ ） ☒ I S O 9 0 0 1 の認証を取得している。 （ ） ☒ その他 （日本農林規格（J A S）造作用集成材）	
		品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇	
	その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☒ 無		
	環境負荷			☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排吐等環境負荷が著しく増大しない。	

未利用木材以外の再生資源を用いる場合は対象

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇課〇〇係
	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	FAX番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

- 備考
- 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☒ 申請者	☒ その他
再生資源の原料	間伐材	第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所	神奈川県内	
再生資源の原料 の処理方法	加工なし	
申請資材での年 間の再生資源の 使用量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量	〇〇 t（〇年度）	〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	間伐材
再生資源の原料の発生場所	主に〇〇県内
再生資源の原料の処理方法	加工なし
再生資源の内容	間伐材
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の価供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
再生集成材 「〇〇ウッド」	鴨居 2750×40×100	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〃	手摺材 4000×60×90	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
〃	床板 12×105×4000	☒ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第 5 条第 1 項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名		再生モルタル	
	申請資材名		再生モルタル「〇〇」	
	寸法・規格等		セメント：砂 比 = 1：3	
評価基準の適合状況	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☐ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等（ ☐ c 石綿を原料としていない。 ☐ d 建物の内装材にあっては、建築基準法施行令第 20 条の 7 の技術基準で使用制限を受けない材料である。	
	再生資源	再生資源の内容	乾燥スラッジ微粉末	
		再生資源の含有率	20%（別紙のとおり）	
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （再生モルタル） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第 8 に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （乾燥スラッジ微粉末）	
	品質管理	製造工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
			公的規格等の取得状況	☐ J I S の認証を取得している。 （ ☒ I S O 9 0 0 1 の認証を取得している。 （ ☐ その他 （
		品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇
その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無		
環境負荷			☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排吐等環境負荷が著しく増大しない。	

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000	
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇	
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社	
	担当所属	名称	〇〇課〇〇係
		電話番号	000-000-0000
FAX番号		000-000-0000	

- 備考
- 1 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 2 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 3 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 4 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 5 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 6 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 7 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 8 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 9 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 10 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☐ 申請者	☒ その他
再生資源の原料		第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所		
再生資源の原料 の処理方法		
申請資材での年 間の再生資源の 使用量		〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量		〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	戻りコンクリート
再生資源の原料の発生場所	主に〇〇県内各工事現場
再生資源の原料の処理方法	分離、脱水、プレスし破碎する
再生資源の内容	乾燥スラッジ微粉末
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の価供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
再生モルタル 「〇〇」	セメント：砂 比 = 1：3	☐ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 （津久井）
〃	セメント：砂 比 = 1：2	☐ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 （津久井）
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 （ ）
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 （ ）
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 （ ）

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

第1号様式（第5条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第5条第1項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名		再生流動性埋戻材
	申請資材名		再生流動化処理土「〇〇」
	寸法・規格等		最大粒径：13mm フロー値：110mm 以上 プリーディング率：3%未満 一軸圧縮強度：200～600kN/m ² ほか
	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☒ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等（土壌溶出量調査、土壌含有量調査） ☐ c 石綿を原料としていない。 ☐ d 建物の内装材にあっては、建築基準法施行令第20条の7の技術基準で使用制限を受けない材料である。
評価基準の適合状況	再生資源	再生資源の内容	建設汚泥、高炉セメント
		再生資源の含有率	70%（別紙のとおり）
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。（再生流動性埋戻材） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。（建設汚泥、高炉セメント）
	品質管理	製造工場	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
		公的規格等の取得状況	☐ JISの認証を取得している。（ ） ☒ ISO9001の認証を取得している。（ ） ☐ その他（ ）
		品質管理責任者	工場長 〇〇 〇〇
その他			再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無
環境負荷			☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排出等環境負荷が著しく増大しない。

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社
	担当所属	
	名称	〇〇課〇〇係
	電話番号	000-000-0000
	FAX番号	000-000-0000

- 備考
- 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☐ 申請者	☒ その他
再生資源の原料		第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり ^(注) (注)エコセメントや高炉セメント、フライアッシュセメントを使用する場合は、それぞれ「JIS R 5214 エコセメント」「JIS R 5211 高炉セメント」「JIS R 5213 フライアッシュセメント」と記入してください。
再生資源の原料 の発生場所		
再生資源の原料 の処理方法		
申請資材での年 間の再生資源の 使用量		〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量		〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

エコセメントや高炉セメント、フライアッシュセメントを使用する場合は不要です

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	建設汚泥
再生資源の原料の発生場所	主に〇〇県内各工事現場
再生資源の原料の処理方法	分離、脱水、プレスし破碎する
再生資源の内容	再生改良土、建設汚泥処理水
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の価供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
再生流動化処理土 「〇〇」	最大粒径：13mm フロー値：110mm以上 プリーディング率：3%未満 一軸圧縮強度：200～600kN/m ²	☐ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 (津久井)
〃	最大粒径：40mm フロー値：110mm以上 プリーディング率：1%未満 一軸圧縮強度：200～600kN/m ²	☐ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 (津久井)
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町

第1号様式（第5条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第5条第1項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名		再生生コンクリート	
	申請資材名		再生生コンクリート「〇〇」	
	寸法・規格等		24-15-20-N 24-18-20-N JIS A 5308	
評価基準の適合状況	環境に対する安全性		☒ a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 ☐ b 公的試験機関の試験結果、公的規格等（ ☐ c 石綿を原料としていない。 ☐ d 建物の内装材にあっては、建築基準法施行令第20条の7の技術基準で使用制限を受けない材料である。	
	再生資源	再生資源の内容	乾燥スラッジ微粉末	
		再生資源の含有率	20%（別紙のとおり）	
	品質・性能		☒ 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。（「JIS A 5308 レディーミクストコンクリート」） ☒ 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。（「乾燥スラッジ微粉末」）	
	品質管理	製造工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
			公的規格等の取得状況	☒ JIS の認証を取得している。（「JIS A 5308 レディーミクストコンクリート」） ☐ ISO9001 の認証を取得している。（ ☐ その他（
品質管理責任者		工場長 〇〇 〇〇		
その他		再生資源以外の木質材料の使用の有無 ☐ 有 ☐ 無		
環境負荷			☒ 再生資源を含有しない資材に比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排出等環境負荷が著しく増大しない。	

申請者の欠格事由	☒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	☒ 新規 ☐ 資材の追加・変更 ☐ 工場の追加・変更 ☐ 再生資源の追加・変更 ☐ その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒0000-0000	
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇	
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社	
	担当所属	名称	〇〇課〇〇係
		電話番号	000-000-0000
FAX番号		000-000-0000	

- 備考
- 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

第1号様式別紙1（第5条・第8条関係）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料 の納入者の区分	☐ 申請者	☒ その他
再生資源の原料		第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり
再生資源の原料 の発生場所		
再生資源の原料 の処理方法		
申請資材での年 間の再生資源の 使用量		〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間 の生産量		〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

再生資源納入証明書

令和〇年〇月〇日

（申請者） 殿

納入者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	戻りコンクリート
再生資源の原料の発生場所	主に〇〇県内各工事現場
再生資源の原料の処理方法	分離、脱水、プレスし破碎する
再生資源の内容	乾燥スラッジ微粉末
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	〇〇 t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

建設リサイクル資材の価供給区域の申告書

公共工事に供給する場合、供給区域の考え方は、次のとおりです。

申請資材名	寸法・規格等	供給区域
再生生コンクリート「〇〇」	J I S A 5308 24-15-20-N	☐ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 (津久井)
	J I S A 5308 24-18-20-N	☐ 神奈川県全域 ☒ 区域限定 (津久井)
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()
		☐ 神奈川県全域 ☐ 区域限定 ()

- 備考 1 この書類は、資材の単価決定に当たって参考としますので、留意して作成してください。
 なお、単価決定方法は、神奈川県県土整備局が定める設計単価の決定方法によります。
 2 「供給区域」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「区域限定」にレ印を記入した場合は、次の区域名の中から該当する区域名を記入してください。

区域名	対象市町村
横浜	横浜市全域
川崎A	川崎市の川崎区、幸区
川崎B	川崎市の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区
横須賀	横須賀市、三浦市、葉山町
逗子	逗子市
平塚	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
藤沢	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
小田原	小田原市
箱根	箱根町、真鶴町、湯河原町
相模原	相模原市（津久井区域を除く）、大和市、座間市
厚木	厚木市、海老名市、綾瀬市、愛川町、清川村
松田	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
津久井	旧相模原市城山町、旧相模原市津久井町、旧相模原市相模湖町、旧相模原市藤野町